

令和3年度 第1回 焼津市障害者自立支援ネットワーク全体会 意見等集約表

7 特別支援学校卒業生の進路について

構成員	意見等	事務局回答等
焼津市手をつなぐ育成会	保護者が不安を抱えていることは深刻な問題であり、ネットワークとしても情報を共有しなければならないが、ネットワークだけで解決できることではなく、行政にとって早急に取り組むべき課題と思います。	ご意見ありがとうございます。 障害福祉計画の進捗管理、次期計画策定も含め検討していきます。
焼津市教育委員会	障害のある児童生徒の多くの保護者は、働く人になれることを希望し、特別支援学校への転入学を決断します。受け皿のない現状を、早急に改善していかなくてはならないと思います。	ご意見ありがとうございます。 市内の資源については、障害福祉計画に沿って考えていきます。また、焼津市だけの問題ではなく、広域で考えるべき課題でもあるため、志太榛原圏域にも課題提起していきます。
藤枝特別支援学校焼津分校	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害等で、特別支援学校以外の進路を選択した後、中途退学になったケースを追うシステムが少ないように思います。実際困っているケースはあるように思います。 ・就学支援委員会で上がってくるケースはいいのですが、特別支援学級に一度入ると、そのままになりがちで。そのため、進路が狭まってしまうことも考えられます。支援級に入った後の学習の積み上げの様子も必要になってくるかと思います（していないということではありません）。 ・高等部卒業後の進路について、必要であれば学校からも情報提供いたします。（本校を含め、市内在住の生徒について） 	ご意見ありがとうございます。 情報提供いただく等、関係機関における連携体制を構築し、今後についても協議・検討していきます。
焼津公共職業安定所	就職支援につきましては、今後とも公共職業安定所（ハローワーク）との連携強化について、よろしく願いいたします。	ご意見ありがとうございます。 今後とも協力をお願いいたします。

<p>静岡県中 西部発達 障害者支 援センタ ーCOCO</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おそらくどんなご本人もポプラなど本市の療育機関を経ているわけですから、その方の18歳の出口を想像しながら、地域で支える視点を支援者全体が共有することが重要だと思います。 ・ そのうえで、地域で支えるために早期から準備すること（ケースの共有、学校訪問、実習内容の把握、アセスメント等）とケースに応じいつから協議共有するかとどこで協議するかという場があることが重要だと思います。 	<p>ご助言ありがとうございます。</p> <p>早期からの対応の必要性は感じております。今後も縦の支援を継ぎ目のないように進められるよう部会等を介し協議していきます。その際には、障害の部門のみではなく関係機関による協議を行っていきます。</p>
<p>焼津市社 会福祉協 議会</p>	<p>ハード面に整備が課題として挙げられているが、市の方策として整備費を助成する等の考えはありますか。</p>	<p>現状では設備費の助成を行っています。今後も設置者等との協議の上、必要に応じて検討していきます。</p>
<p>焼津市ボ ランティ ア連絡協 議会</p>	<p>喜んで仕事をしていると聞いております。職場で本人達に少しだけでも頑張ったポジションの役目などがあれば、日常生活に輝きが増すと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本人達が少しでもやりがいのある仕事に就けるよう、学校とも連携していきます。</p>